

# 帷子川で生息可能な範囲まで アユの遡上範囲を拡大します

～「アユが遡上する帷子川アクションプラン」を策定しました～



横浜のアユは、昭和 40 年代に姿を消したといわれています。その後、河川の水質改善が進むとともに、平成元年に再確認されて以降、現在では市内の多くの河川で確認されるようになり、平成 19 年には、帷子川でアユの仔魚が確認されました。

横浜市では、帷子川をアユが遡上する取組を推進するため、旭区内を対象に遡上の阻害やアユの生息環境に関する現状や課題を整理し、今後の取組について考え方や方向性をとりまとめた「アユが遡上する帷子川アクションプラン」を策定しましたので、お知らせします。

今後は、横断施設の改良や魚道の整備などにより移動環境を改善します。また、多様な流れや水際環境の創造などにより生息環境の改善を図っていきます。

## 移動阻害の状況



帷子川今川橋上流落差工

## 生息環境の状況



帷子川今川親水橋上流

## 移動阻害の改善



## 改善イメージ



黒須田川（横浜市青葉区）

## 改善イメージ



いたち川（横浜市栄区）

## 生息環境の改善



### 1 公表内容

「アユが遡上する帷子川アクションプラン」横浜市道路局河川部

### 2 閲覧方法

横浜市道路局河川計画課のホームページに掲載します。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/doro/kasenkeikaku/>

### お問合せ先

道路局河川計画課長

仲澤 克彦

Tel 045-671-2858